

11月に(仮)芳賀町総合情報館基本計画書の答申が情報館建設委員会から出され、広報紙やホームページなどで内容の一部をお知らせしました。「情報館のことをもっと知りたい」という意見が寄せられていますので、Q&Aでその内容を紹介します。



**Q どうして総合情報館を建てることになったのですか。**

**A**現在の町民会館図書室には、「部屋が狭く勉強する人に気を使い、ゆつくり本を選んだり、読んだり、調べたりできない」「本が少ない」などの意見が出されています。

現在の郷土資料館は、専門職員(学芸員)がいないので、展示替えや企画展、講座ができな。資料を保存する施設としては十分でない。役場、町民会館と離れていることもあり、他の用事の手続きで、気軽に立ち寄ることができないなどのため来館者が少ないなどの問題を抱えています。

また、町史編さん事業で収集した古文書や行政文書が多数あります。これらを、記録資料として保存し、行政情報の公開などの町民の要求にこ

たえることが、将来の重要課題になっていきます。

以上のような問題を解決して、幅広く文化、地域、行政情報を収集し、利用や活用ができる環境を整え、町民の皆さんに向けて情報を発信し、町が情報を受けとる21世紀型文化情報センターとして重要な役割を果たすために建設を計画しました。

**Q どうして総合館なのですか。**

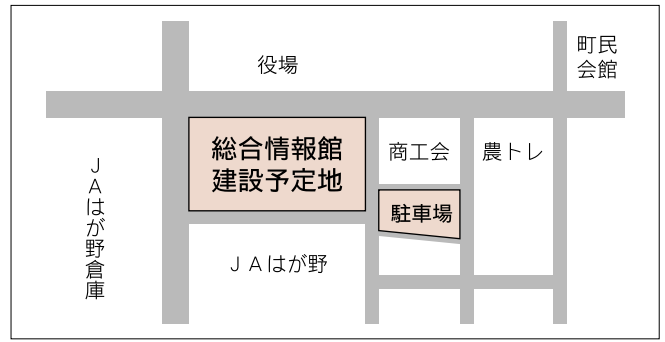
**A**規模の小さな単独館を別々に設置すると、いづれも不十分なものとなりがちであり、本来の役割を果たせなくなるおそれがあります。それに、建設費や運営費も割高になります。そのため、総合施設とし効率的な管理、運営を行うことにより、それぞれの役割を発展させることができます。そうすることにより、一体的に利用でき、利便性も高めることができます。

る施設とします。  
 ②リサイクル可能な製品を積極的に活用します。  
 ③管理しやすく維持管理費の軽減に努めます。

**Q 総合情報館の愛称は募集しますか。**

**A**総合情報館は、町民参加型で、永く町民に親しまれる施設を目指しています。そのためにも、愛称募集は必要と考え、今後募集する予定です。

質問やご意見などは  
 町民会館  
 ☎028(677)0009



**(仮)芳賀町総合情報館嘱託員の募集**

- 募集人数/①司書嘱託員 1人 ②学芸嘱託員 2人
- 勤務場所/芳賀町
- 業務内容・応募資格/情報館開館準備業務  
 ○図書館部門の開館準備業務(司書有資格者か同等の能力のある、図書館業務に意欲のある人)○博物館部門の開館準備業務(学芸員有資格者か同等の能力のある、博物館業務に意欲のある人)○文書館部門の開館準備業務(学芸員有資格者か同等の能力のある、近世文書の読解力があり、文書館業務に意欲のある人)
- 給与/①司書嘱託員 151,000円(予定) ②学芸嘱託員 160,000円(予定)  
 ※賞与有、通勤手当無
- 勤務条件等/○8:30~17:15、週5日勤務(火曜日から土曜日を主とし、休日出勤は振り替え)  
 ○健康保険、年金、雇用保険加入
- 申し込み/役場住民課、町民会館、生涯学習センター、町ホームページなどで配布する申込書に記入し、町民会館に1月25日まで。  
 ※詳細は、町民会館へお問い合わせください。  
 町民会館 ☎028(677)0009

# 基本設計委託業者決定

12月18日(土)に総合情報館について業者からの技術提案のヒアリング及び審査委員会が開かれ、(株)日本設計に基本設計業務を委託することになりました。

平成16年12月に基本設計委託契約を締結し平成17年3月末までに基本設計業務が終了する予定です。



外観イメージ

# 総合情報館

—どんな建物なの? Q&A—

**Q 総合情報館の場所は、どうして役場前になったのですか。**

**A**総合情報館の建設場所をどこにするかについては、小学校跡地も含め検討してきました。いろいろな意見がありました。したが、芳賀町役場南側を適地として選択しました。

**Q 総合情報館を建設する費用はどのくらいですか。**

**A**建設工事費、外構工事費、備品購入費を含めて約13億円を予定しています。この内、約4割の5億2千万円が国土交通省の補助金(まちづくり交付金)から支出され、残り7億8千万円が町の負担となります。まちづくり交付金事業年度は平成16年から平成20年度です。

**Q 総合情報館の面積はどのくらいですか。**

**A**本やCDを選んだり、本を読んだり、調べものができる部屋。貴重な資料や町民の作

品などの展示、見学ができる部屋。資料を収蔵する部屋。町民が交流できる部屋。事務室。作業室の合計で、約3,000㎡を予定しています。

**Q 総合情報館の名前にふさわしく、電子情報化社会への対応はどうなりますか。**

**A**皆さんの利便性を考えて次のことが計画されています。

- ①ホームページを開設し、いつでも図書などの収蔵資料の検索、予約を可能にします。
- ②総合情報館で収蔵している資料情報、地域情報、行政情報などをインターネットを通じて提供できるようにします。
- ③画面にさわるだけで図書資料や博物館資料、文書館資料をいっしょに検索できるようにします。
- ④有料の電子資料(オンラインデータベースなど)を無料で提供できるようにします。
- ⑤パソコンで文章作成や調べものができるようにします。

**Q 環境に配慮する「環の町芳賀」に適応した施設ですか。**

**A**循環型社会「環の町はが」を実践します。

①太陽光発電の利用など環境に対する負荷を極力軽減でき